

K0632

120分

[注意事項]

- * 受験番号は受験票で確認し、算用数字で正確に記入してください。
- * 解答は、所定欄に楷書ではっきりと記述してください。
- * 試験問題と解答用紙（同一）は回収しますので、持ち帰らないでください。

受 験 番 号					
		—			

氏	
名	

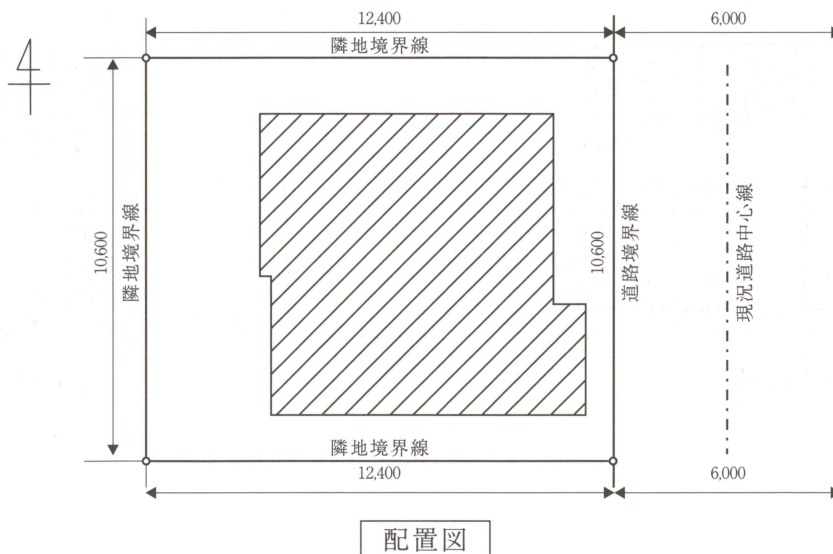
[問題1] 下記の建築物の解体工事を発注者から直接請け負った。あなたが責任者として、工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問1-1から問1-5までの問いに答えなさい。

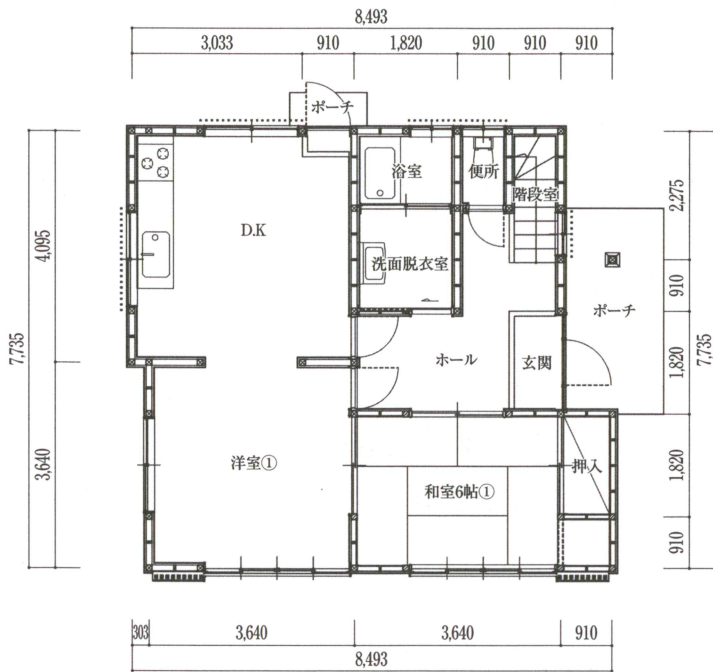
[解体する建物の概要]

- (1) 敷地面積：131.4m²
- (2) 建築面積：60.0m²
- (3) 延べ床面積：93.1m² (1階 60.0m²、2階 33.1m²)
- (4) 構造：木造2階建て (在来軸組構法)
基礎はコンクリート造・布基礎
- (5) 用途：住宅 (1978年竣工)
- (6) 外部仕上げ：外壁 ラスモルタル塗り・リシン吹付
屋根 金属屋根 (瓦棒葺き) 屋根ふき面積は72m²
- (7) 内部仕上げ：天井・壁 せっこうボード・クロス (壁紙) 仕上げ

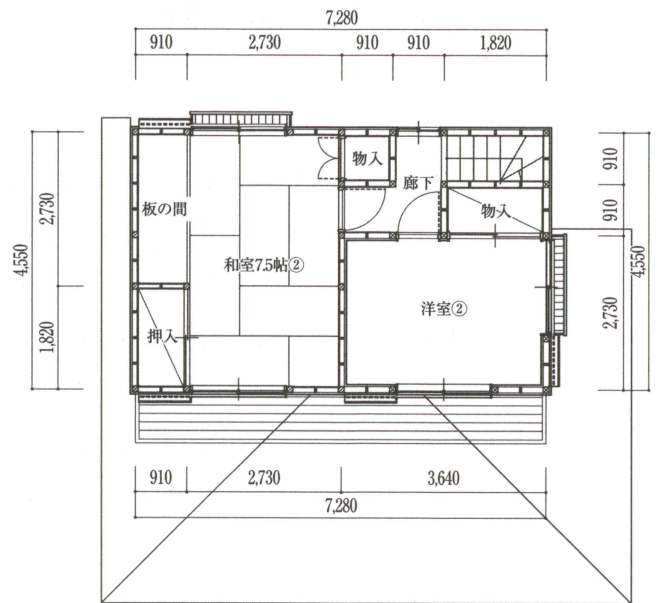
[立地・作業条件]

- (1) 近隣は密集した住居地域にある。
- (2) 駐車禁止地区であるため、車両は道路に止められない。
- (3) 作業時間は、午前8時より午後5時までとする。





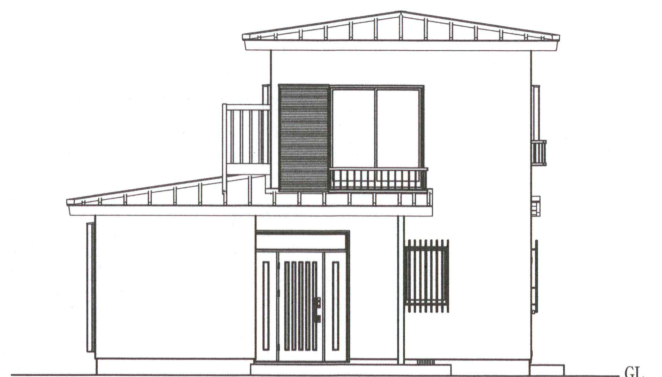
1階平面図



2階平面図



南立面図



東立面図

問1-1 当該解体工事前の事前調査を行うとき、特に必要と思われる留意事項を次の欄に3つ記述しなさい（ただし、有害物に関する調査は除く）。

(1)

(2)

(3)

問1-2 当該解体工事現場に関する事前の届出等について、次の（ ）の中に適切な語句・数値を記入しなさい。

建設リサイクル法の対象解体工事の規模基準は延べ床面積（ ） m^2 であり、この建築物の解体工事は建設リサイクル法の届け出対象となるので、（ ）者は、工事に着手する（ ）日前までに（ ）へ分別解体等の計画等について届出が必要である。

問1-3 以下の解体作業について、必要な事項・注意点等を具体的に記述しなさい。

(1) 内装材（せっこうボード）撤去：

(2) 屋根葺き材撤去：

問1-4 外壁に使用されているリシン吹付は、アスベストを含有している可能性がある。

外壁の解体作業のうち、次の3点について、必要な事項・注意点を具体的に記述しなさい。

(1) 準備作業：

(2) 除去作業：

(3) 搬出・処分：

問1-5 当該建築物を分別解体して発生する「木くず」および「金属屋根材」の排出量のおよその量を(イ)～(ニ)から選んで、記号を に記入しなさい。

(1) 木くず :

(イ) 2～5トン

(ロ) 6～11トン

(ハ) 12～17トン

(ニ) 18～24トン

(2) 金属屋根材 :

(イ) 0.3～0.6トン

(ロ) 1.2～1.6トン

(ハ) 3.0～4.0トン

(ニ) 5.0～7.0トン

[問題2] 下記の鉄筋コンクリート造建築物の解体工事を発注者から直接請け負った。階上解体工法により解体工事を行うとした場合、あなたが責任者になって工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問2-1から問2-5までの問題に答えなさい。

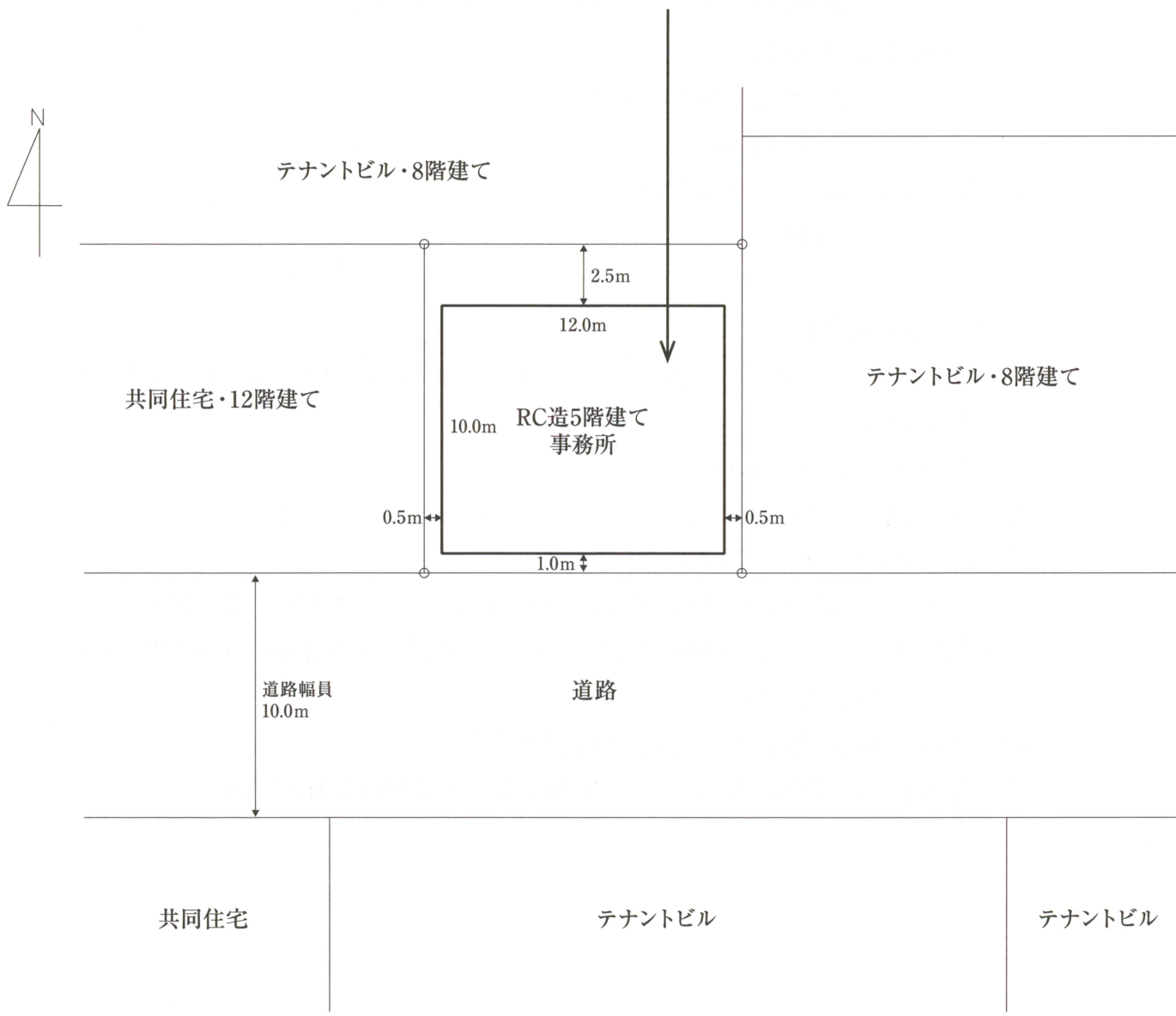
[解体する建築物の概要]

- (1) 構造：鉄筋コンクリート造・ラーメン構造
基礎は既製コンクリート杭打ちフーチング基礎
- (2) 建築規模：5階建て
建築面積 120.0m²
軒高 16.0m
- (3) 延床面積：600.0m²（各階120.0m²）
- (4) 用途：事務所

[立地・作業条件]

- (1) 当該敷地は南側が道路に面しており、西側は共同住宅、北側、東側はテナントビルに隣接している。
- (2) 南側道路の幅員は10.0m。
- (3) 現場は繁華街の中にあり、午後になると非常に歩行者が多くなる。
- (4) 作業時間は8：00から17：00までとする。
- (5) 道路面にはH3.0mの万能鋼板にて仮囲いを行い、シートゲートを設置する。建物周囲4面には、単管・枠組足場に防音パネルを設置する（道路面は万能鋼板・シートゲートの直上に設置）。
- (6) 建物は基礎まで撤去する。基礎下の杭は存置とする。
- (7) 北側建物との隙間は2.5m、東、西側の建物との隙間は0.5mである。

解体する建築物



問2-1 当該建物が繁華街の中にあることを踏まえたうえで、解体工事を行うにあたり必要な事前準備作業を3つ記述しなさい。

(1)

(2)

(3)

問2-2 東・西側の隣接建物との隙間がかなり狭いことを踏まえたうえで、階上解体工事を行うにあたり安全を確保するために必要な措置を3つ記述しなさい。

(1)

(2)

(3)

問2-3 当該建物に使用されている以下の建材のうち、石綿含有調査が必要なものすべてに○を記入しなさい。

<input type="checkbox"/> 外壁仕上塗材	<input type="checkbox"/> 屋上アスファルト防水	<input type="checkbox"/> 木製造作棚
<input type="checkbox"/> 外壁ステンレスパネル	<input type="checkbox"/> 天井岩綿吸音板	

問2-4 当該解体工事により発生するコンクリート及び鉄筋の排出量のおよその量を 内に記入しなさい。

コンクリート：約 トン

鉄筋：約 トン

問2-5 主として「階上解体・圧砕工法」で施工し、着工から完了までの実稼働日数を60日として、下記のバーチャート工程表を作成しなさい。

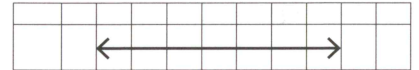
【条件】

- (1) 解体範囲：建物はフーチング基礎まで解体する（杭は存置）。
- (2) 使用重機：階上解体 0.25m³バックホウ 地上解体 0.45m³バックホウ
- (3) 運搬車両：隣接道路には重量による通行規制はないため、任意とする。
- (4) 気象条件：悪天候その他のトラブルはないものとする。
- (5) 事前措置は完了している。
- (6) 事前調査の結果、石綿含有建材は確認されなかったものとする。

【工 程 表】

工事件名： RC造5階建て事務所解体工事
 工 期： 60日

※簡易的に以下のような記載で良い。

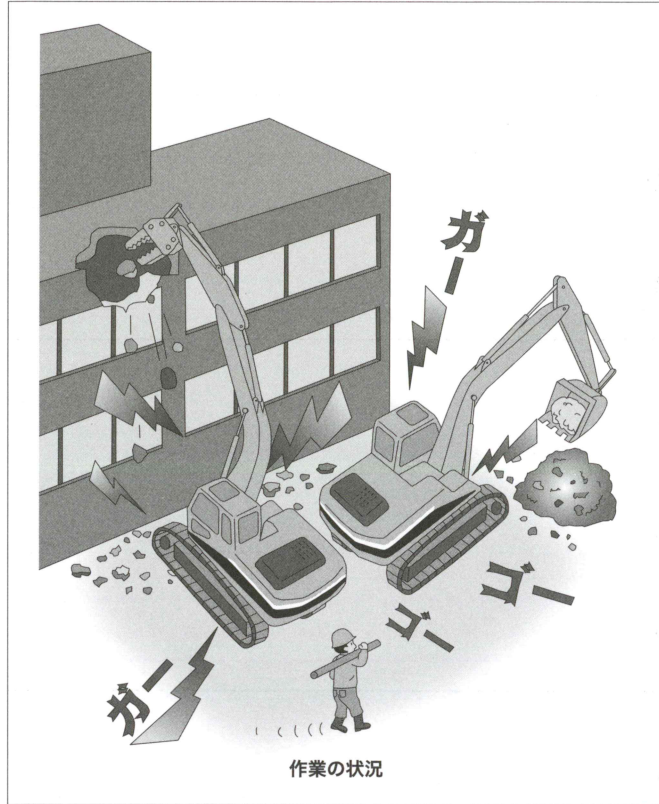


日数	1	11	21	31	41	51
道路面仮囲い						
建物養生・サポート設置						
内部造作撤去						
屋上スラブ開口1階先行解体						
重機揚重						
上屋解体						
土間基礎解体						
整地・片付け						
発生材搬出						

[問題3] 解体工事における近隣対策として行うべきことを、着工前・施工中・完了後に分けて、それぞれ3つずつ具体的に記述しなさい。

着工前	<p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p>
施工中	<p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p>
完了後	<p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p>

【問題4】 下図のような鉄筋コンクリート造建築物の地上解体作業を行う際、どのような危険がありますか。危険要因を3つ挙げて、それぞれの安全対策・事前処置を記述しなさい。



危険要因	安全対策・事前処置
①	
②	
③	

